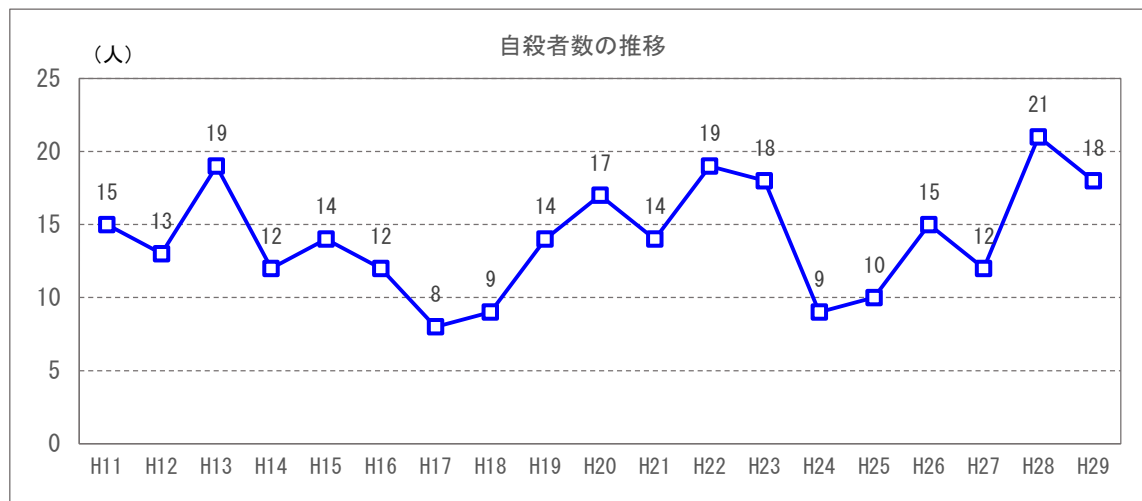


あきる野市における自殺の現状について

1) 自殺に係る本市の状況

市の平成11年以降の自殺者の推移を見ると、平成28年が21人と最も多くなっています。平成24年と平成25年は自殺者がそれぞれ9名、10名と少なかったものの、近年の傾向としては、増減しつつ増加傾向で推移しています。

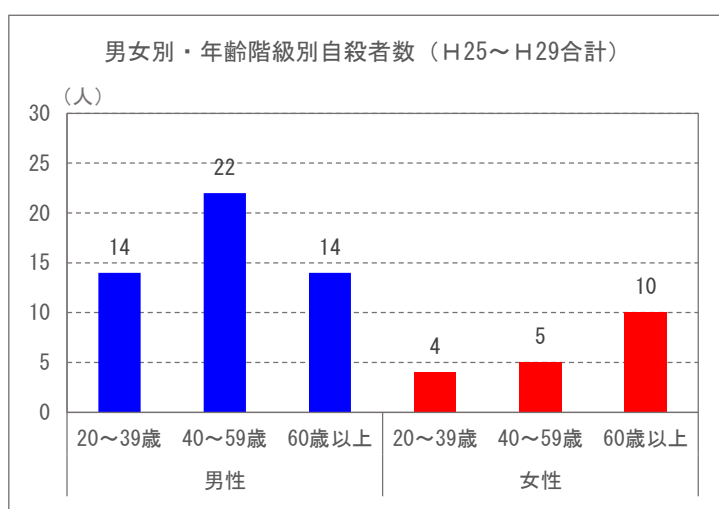
図1



資料：厚生労働省「自殺動態統計」

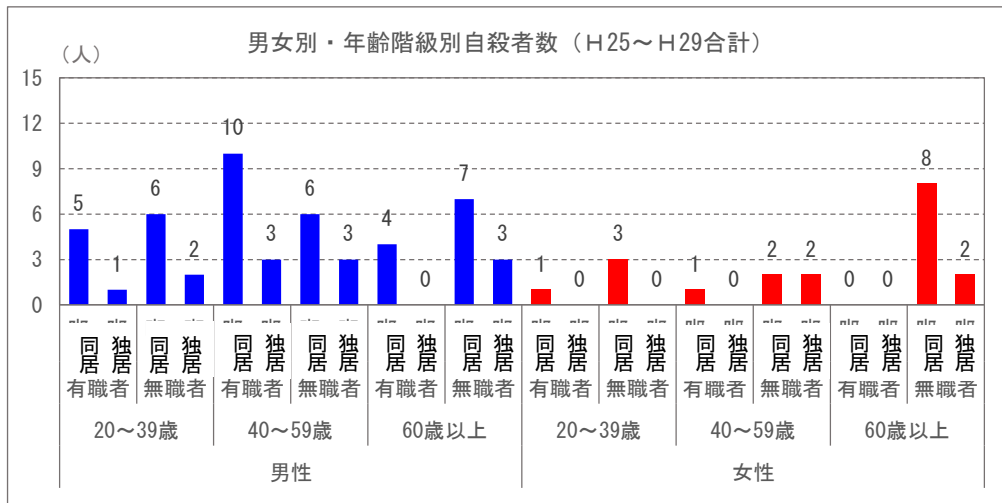
平成25年から平成29年の5年間でみると、男女別・年齢階級別累計自殺者数は、女性よりも男性が多くなっています。

図2



男性では40～50歳代が突出して多く、女性では60歳以上の高齢者が多くなっています。

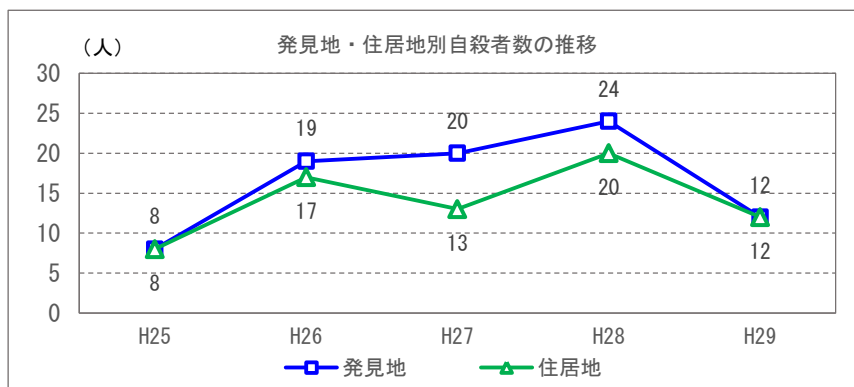
図3



資料：警察庁「自殺統計」

発見地・住居地別自殺者数を平成25年～平成29年でみると、発見地（あきる野市以外に居住する住民）自殺者が住居地（あきる野市に居住する住民）自殺者よりも多い状況が続いており、市外に居住する住民が市内で自殺を凶っていることとなります。

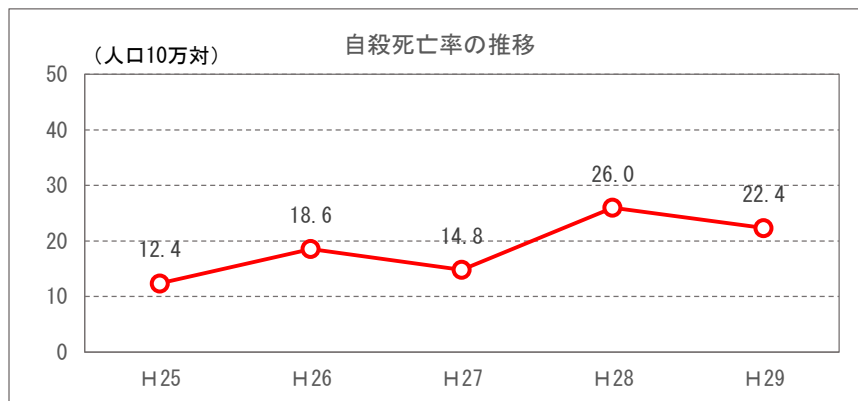
図4



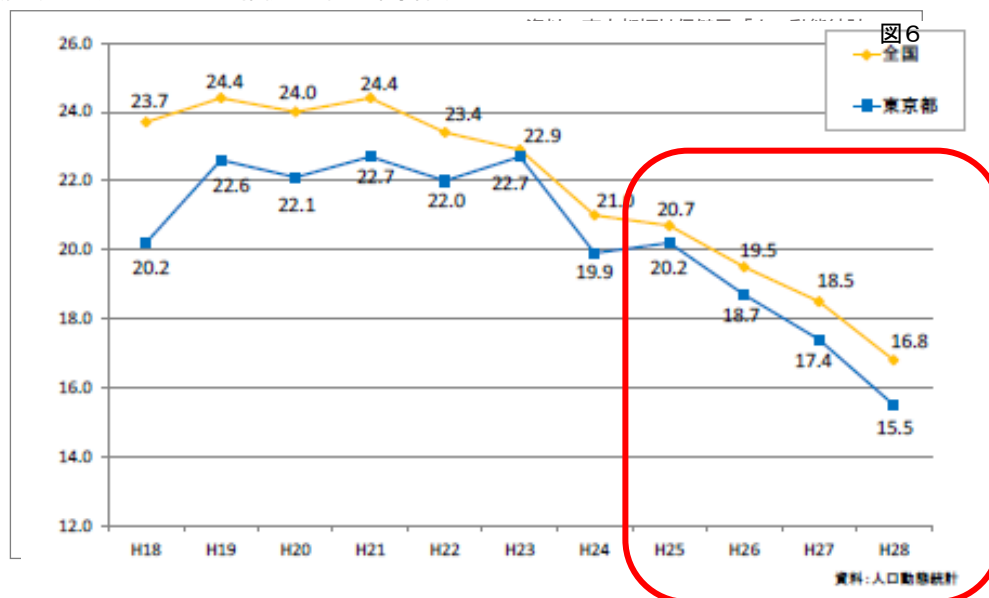
資料：警察庁「自殺統計」

市の自殺死亡率は、平成 25 年が 12.4 ですが平成 29 年が 22.4 と、上昇傾向で推移しています。

図5



[参考：自殺死亡率の年次推移 (全国・東京都)]



2) あきる野市「地域自殺実態プロフィール (2018 更新版)」

平成 29 年 7 月に閣議決定された新たな自殺総合対策大綱では、国が地方公共団体の地域自殺対策計画の策定を支援するために、自殺総合対策推進センターにおいて都道府県及び市町村それぞれの自殺の実態を分析した「自殺実態プロフィール」を作成することとなりました。

市町村は、提供される「地域自殺実態プロフィール」を参考に、地域の自殺の実態を把握して地域自殺対策計画を策定し、総合的な自殺対策を推進することとなっています。

※次頁以降は自殺総合対策推進センターから市に提供された「地域自殺実態プロフィール (2018 更新版)」を抜粋したものです。

【あきる野市 地域自殺実態プロファイル】

※自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2018更新版）」から抜粋

地域自殺実態プロファイル【2018 更新版】

【東京都あきる野市】

推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	勤務・経営 高齢者 生活困窮者
---------	-----------------------

「推奨パッケージ」は下記の「地域の自殺の特徴」の上位の3区分の性・年代等の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に選定している。（「主な自殺の危機経路」は、自殺実態白書 2013に基づき、あくまでも、該当する性・年代等の特性に応じ、全国的に見て代表的と考えられる「自殺の危機経路」を示すものであり、提示された経路が唯一のものではない。）なお、ハイリスク地及び自殺手段については次頁の「地域の自殺の特性の評価」のランク欄に示された☆☆の地域について記載している。

自らの自治体で実施すべき具体的な施策については、推奨パッケージをまず目安として確認いただき、その上で次頁の「地域の自殺の特性の評価」（人口 10 万あたりの自殺率等の全国の中での相対的な指標値をもとに評価している）等、地域自殺実態プロファイルの他の詳細データ等を勘案して検討いただきたい。

■地域の自殺の特徴

- ・東京都あきる野市の自殺者数は H25～29 合計 70 人（男性 50 人、女性 20 人）（自殺統計（自殺日・住居地））

地域の主な自殺の特徴（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計）、公表可能）

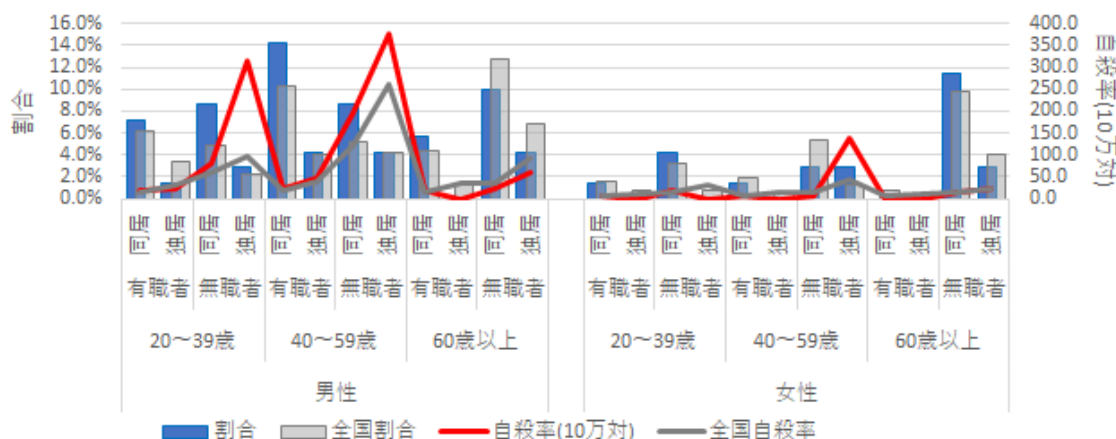
上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位: 男性 40～59 歳有職同居	10	14.3%	22.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み +仕事の失敗→うつ状態→自殺
2位: 女性 60 歳以上無職同居	8	11.4%	15.9	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位: 男性 60 歳以上無職同居	7	10.0%	21.5	失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ） +身体疾患→自殺
4位: 男性 40～59 歳無職同居	6	8.6%	195.4	失業→生活苦→借金+家族間の不和→う つ状態→自殺
5位: 男性 20～39 歳無職同居	6	8.6%	80.2	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間 の不和→孤立→自殺 ②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ 状態→自殺

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺率の高い順とした。

*自殺率の母数（人口）は平成 27 年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

**「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書 2013（ライフリンク）を参考にした（詳細は付表の参考表 1 参照）。

地域の自殺の概要（グラフ）（特別集計（自殺日・住居地、H25～29 合計）、公表可能）



(数表は付表 1、2 参照)

■地域の自殺の特性の評価（H25～29 合計）

	指標	ランク		指標	ランク
総数 ¹⁾	17.1	—	男性 ¹⁾	24.5	—
20 歳未満 ¹⁾	1.1	—a	女性 ¹⁾	9.8	—
20 歳代 ¹⁾	23.5	★a	若年者(20～39 歳) ¹⁾	20.8	★a
30 歳代 ¹⁾	17.0	—	高齢者(70 歳以上) ¹⁾	17.7	—
40 歳代 ¹⁾	23.3	—a	勤務・経営 ²⁾	16.4	—
50 歳代 ¹⁾	23.0	—	無職者・失業者 ²⁾	39.7	—a
60 歳代 ¹⁾	17.0	—	ハイリスク地 ³⁾	119%/+13	—
70 歳代 ¹⁾	22.1	—	自殺手段 ⁴⁾	27%	—
80 歳以上 ¹⁾	8.7	—			

- 1) 自殺統計にもとづく自殺率（10 万対）。自殺者数 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
 - 2) 特別集計にもとづく 20～59 歳を対象とした自殺率（10 万対）（公表可能）。自殺者数 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
 - 3) 自殺統計にもとづく発見地÷住居地（%）とその差（人）。自殺者（発見地）1 人の減少でランクが変わる場合はランクに a をつけた。
 - 4) 自殺統計もしくは特別集計にもとづく首つり以外の自殺の割合（%）。首つり以外の割合が多いと高い。（首つりと首つり以外の人数が共に 5 人以上であれば、公表可能（自殺統計から算出可能な場合の公表は差し支えない）。自殺手段関連資料（p. 7）参照）
- ・指標欄の「*」は指標を算出していないことを示す。

ランクの標章（詳細は付表の参考表 2、3 参照）

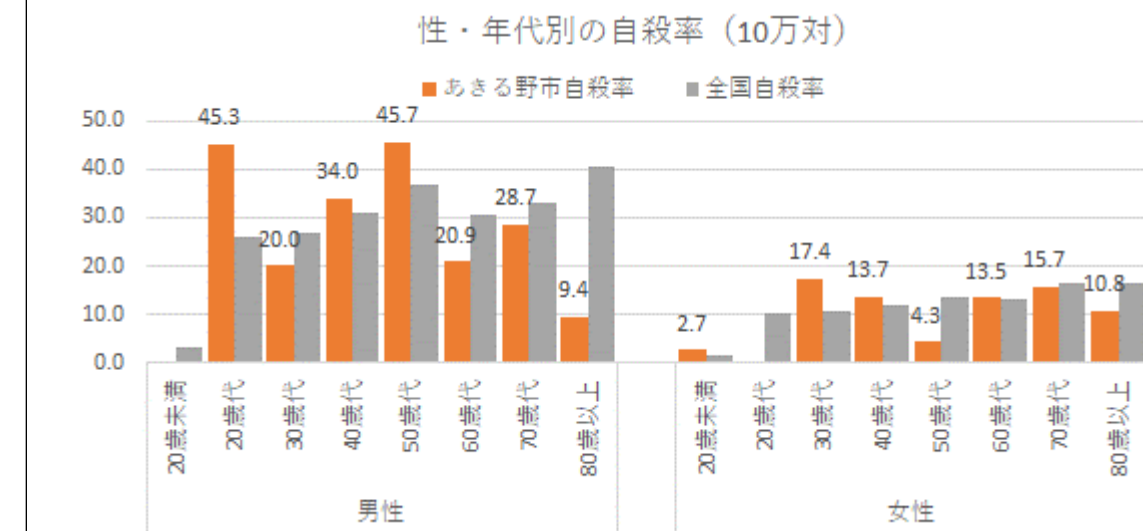
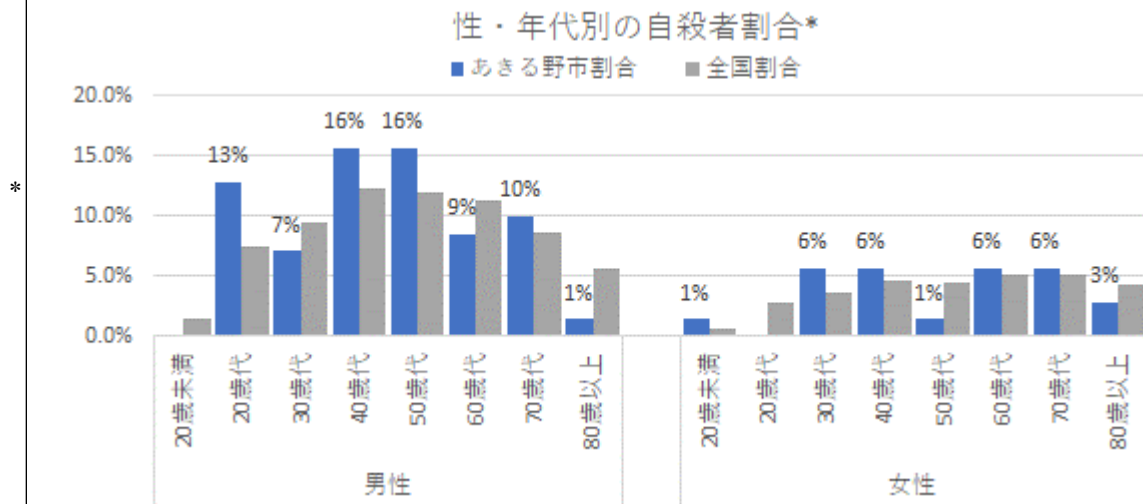
ランク	
★★★/☆☆	上位 10%以内
★★/☆	上位 10～20%
★	上位 20～40%
—	その他
**	評価せず

※市区町村について全国市区町村に対するランクを評価した。

■一般的な状況

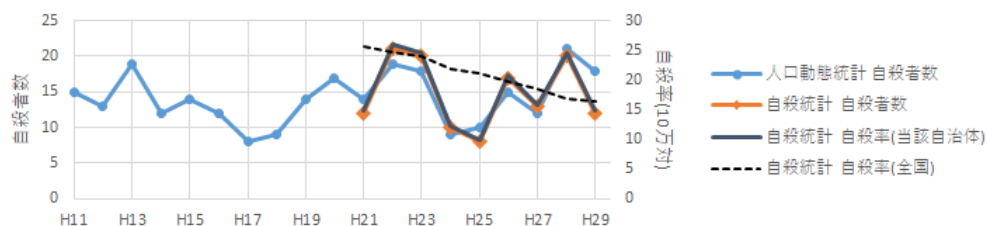
	H25	H26	H27	H28	H29	合計	平均
自殺統計 自殺者数(自殺日・住居地)	8	17	13	20	12	70	14.0
自殺統計 自殺率(自殺日・住居地)	9.8	20.8	15.9	24.5	14.7	-	17.1
人口動態統計 自殺者数	10	15	12	21	18	76	15.2

性・年代別 (H25～29年平均) (自殺統計 (自殺日・住居地))



*全自殺者に占める割合を示す。
(数表は付表3～5参照)

長期的な推移



■勤務・経営関連資料

有職者の自殺の内訳（特別集計（自殺日・住居地、H25～29 合計）、公表可能）

（性・年齢・同居の有無の不詳を除く）

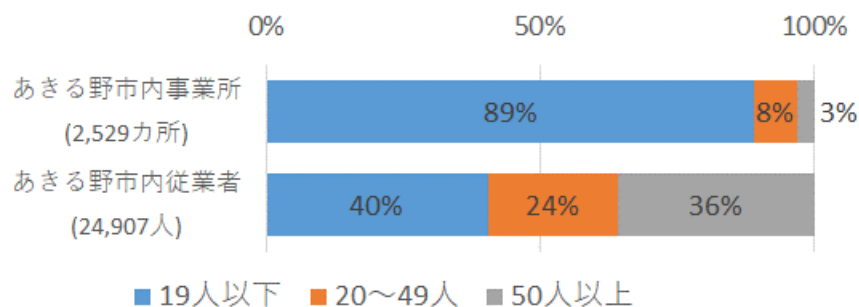
職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業者	6	24.0%	20.3%
被雇用者・勤め人	19	76.0%	79.7%
合計	25	100.0%	100.0%

地域の就業者の常住地・従業地（H27 国勢調査）

		従業地		
		自市区町村	他市区町村	不明・不詳
常住地	自市区町村	13,061	19,399	2,242
	他市区町村	9,391	—	—

- ・あきる野市内常住就業者の55.9%が他市区町村で従業している。また、あきる野市内従業者の41.8%が他市区町村に常住している。
- ・地域によっては労働力状態不詳の割合が高く、実際の従業者数を反映していないことがある。

地域の事業所規模別事業所／従業者割合（H26 経済センサス-基礎調査）



	総数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	出向・派遣従業者のみ
事業所数	2,529	1,469	510	267	109	88	53	28	5
従業者数	24,907	3,159	3,317	3,599	2,580	3,349	3,603	5,300	—

- ・労働者数50人未満の小規模事業場ではメンタルヘルス対策に遅れがあることが指摘されており、地域産業保健センター等による支援が行われている。自殺対策の推進の上でも地域の関係機関との連携による小規模事業所への働きかけがのぞまれる。

■高齢者関連資料

60歳以上の自殺の内訳（特別集計（自殺日・住居地、H25～29 合計）、公表可能）

性別	年齢階級	同居人の有無（人数）		同居人の有無（割合）		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60歳代	3	3	12.5%	12.5%	17.1%	10.8%
	70歳代	7	0	29.2%	0.0%	15.1%	6.3%
	80歳以上	1	0	4.2%	0.0%	10.4%	3.6%
女性	60歳代	3	1	12.5%	4.2%	9.7%	3.2%
	70歳代	4	0	16.7%	0.0%	9.1%	3.8%
	80歳以上	1	1	4.2%	4.2%	7.4%	3.5%
合計		24		100%		100%	

高齢者（65歳以上）の多くが無職のため、性・年代別の同居者の有無を示した。
60歳以上の性・年代・職業（8区分）・同居人の有無別の集計については付表2を参照。

■ハイリスク地関連資料（自殺統計（自殺日））

自殺者数の推移

自殺統計 （自殺日）	H25	H26	H27	H28	H29	合計	集計 （発見地/住居地）	
発見地	8	19	20	24	12	83	比	119%
住居地	8	17	13	20	12	70	差	+13

年代別自殺者数

H25～29 合計	20歳 未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳 以上	不詳
発見地	0	7	8	17	18	13	16	4	0
住居地	1	9	9	15	12	10	11	3	0

■自殺手段関連資料

手段別の自殺者数の推移（自殺統計（自殺日・住居地））

手段	合計	割合	全国割合
首つり	51	72.9%	66.2%
首つり以外 （小計）	19	27.1%	33.7%
服毒			2.5%
練炭等			7.0%
飛降り			9.9%
飛込み			2.4%
その他	8	11.4%	12.0%
不詳			0.1%

※5人未満は公表不可